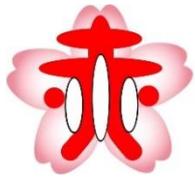


◆ 学校教育目標:共に学び、共に輝き、未来を切り拓く「あかいつ子」の育成 ◆

令和6年度 赤井小学校(開校150周年)

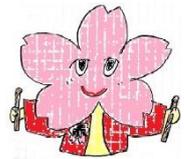
令和6年6月11日 NO.2

赤井小ゆるキャラ



校長室だより

笑顔



さくらだいこくん



赤井小学校150周年記念式典！



校長 片岡 明恵

いよいよ、今週土曜日（6月15日）は「赤井小学校開校150周年記念式典」です。

赤井小学校は、明治時代の開校からこれまで数多くの人材を輩出し、輝かしい伝統を築いてきました。この大切な節目にあたり、今年は150年の歴史を振り返り、本校を育ててくださった皆様の偉業や努力、温かい真心や思いやりに感謝する一年です。また、開校記念式典を開催するにあたり、令和4年から話し合いを重ね、様々なご協力をしてくださった皆様にも感謝申し上げます。

私たち教職員一同は、保護者の皆様、地域の皆様と共に「**子供が幸せを感じる笑顔あふれる温かい学校づくり**」に向かう気持ちを新たにしております。

お子様の明るく伸びやかな姿を楽しみに、是非、開校150周年記念式典にお越しください。図書室前掲示板には、子供たちの個性あふれる「**ゆめカード**」も掲示しております。眺めていると思わず口元が緩み、涙腺が緩みます。子供たちは「希望の光」です。大切なお子様を、これからも大切に育ててまいります。



「幸せって…？」

1980年代、明石家さんまさんが「幸せって何だっけ、何だっけ？」と歌うコマーシャルがありました。さて「幸せ」って、どのような状態なのでしょう。

人が「幸せ」を感じるためには「**幸せの4因子**」が必要なのだそうです。

(慶應義塾大学大学院 前野隆司教授)

- ① 自己実現と成長（「**やってみよう!**」因子）
夢や目標、自分の強みをもち、夢や目標を達成しようと努力する気持ち
- ② つながりと感謝（「**ありがとう**」因子）
多様な人とつながり活動し、感謝する気持ち
- ③ 前向きな楽観（「**なんとかなる**」因子）
物事を前向きに楽観的に捉える気持ち
- ④ 独立とマイペース（「**あなたらしく**」因子）
自分らしく他人に左右されず、マイペースに生きる気持ち

これらのことから「子供が幸せを感じる笑顔あふれる温かい学校」は、「**やってみよう**」「**ありがとう**」「**だいじょうぶ**」という言葉がたくさんあふれる学校だと考えます。自分も友達も幸せになれる学校を、子供たちが主体となってつくっていただけるように、大人もこの言葉をたくさん投げ掛けていきましょう。



32年間、赤井いぶき太鼓のご指導をしてくださった関先生。6月15日の記念式典で今後の指導は制野俊弘先生に引き継がれます。長年にわたり太鼓のすばらしさ、楽しさ、「心」を教えてくださいました。

会津若松市「野口英世記念館」から職員の方が来て野口英世の人生と功績をお話ししてくださいました。「大槻俊斎」の生き方と重なるところが多くありました。ネバーギブアップ！「成せば成る！」



東松島市ならではのビッグイベント！イチゴ摘み。「見て。こんなに大きいイチゴ！」イチゴ作りに掛ける生産者さんの愛情と大変さも学んできました。

大津波を想定した避難訓練。防災頭巾をかぶって屋上へ。いざという時に慌てずに命を守る行動がとれるように繰り返し訓練をしております。



学校での学び方は「先生が教える。子供は教えてもらう。」受け身の学習から、「友達と対話しながら自己の考えを深める」主体的な学びに変わっています。子供たちの机は黒板の方を向くのではなく、友達の顔が見えるコの字型や4人グループです。大人も同じ。何か新しいことを考えようとする時は、話し合いです。学校運営協議会（右）は毎回時間が足りないくらい新たなご提案をいただいています。ありがとうございます。



6月16日（日） 宮城県青年文化祭（東松島市コミュニティセンター）が開催されます。13時から6年生が「赤井いぶき太鼓」を演奏します。お越しください。